

🏠 トップ

📰 ニュース

🏠 くらし

🏆 スポーツ

📖 おくやみ

🏠暮らしアクセス

🎣釣り

社会 | 政治・行政 | 経済・企業 | 教育 | 福祉・医療・健康 | 事件・事故 | 観光 | 一次産業 | 人事・本社来訪 | 選挙

採用情報 函館新聞社

トップ > カテゴリ > ニュース > 教育

知内の魅力一冊に凝縮 涌元小児童が観光リーフレット製作

🕒 2018年11月12日 17時00分

📍 知内町



観光リーフレットを掲げる3、4年生児童たち

📷 掲載写真を購入

【知内】涌元小学校（三上幸喜校長、児童23人）の3、4年生児童9人が、地域の観光PR活動に取り組んでいる。子どもたちは写真とイラストで郷土の魅力を伝えるA3判観光リーフレット約550部を制作し、8日には道の駅「しりうち」で来館者に配布した。

同校が昨年から道の指定を受けて取り組む観光教育「涌元・小谷石のまちじまん」の一環。子どもたちは自分たちの住んでいる地域についてインターネットなどで調べた上で、「矢越クルーズ」やイカリカイ駐車公園での磯遊びなどを体験し、関係者らに取材してリーフレットを制作。体験時に撮影した写真と、手書きのイラストを配して、各人のメッセージを添えた。

同校の3～6年生児童は、道教育大函館校の池ノ上真一准教授から「涌元・小谷石観光大使」に任命され、町内外への魅力

発信に取り組む。池ノ上准教授は「体験を通して、子どものうちから地元を誇りが持てる素晴らしい取り組みだ」と高く評価する。

同校は、リーフレットを道の駅「しりうち」のほか、町内の主要施設や近隣町の道の駅などに配置する予定で、「ぜひ手に取って、学校に感想を寄せてもらえれば」としている。（神部 造）